

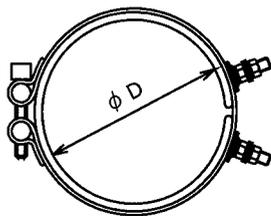
バンドヒーター



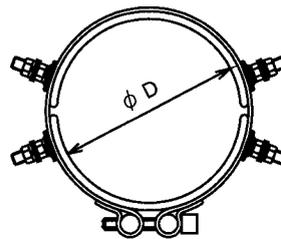
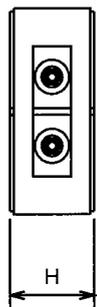
■特長

バンドヒーターは発熱線をマイカ板で被覆し、ボンデ銅板かステンレス鋼板（通常SUS430）などでサンドイッチ状にし、円筒状に加圧成形した薄型軽量の発熱体です。1ピース型はシリンダ及びダイスなど一方から差し込んで取り付ける箇所に、2ピース型はフランジや障害物があり一方から差し込むことが出来ない箇所に適しています。

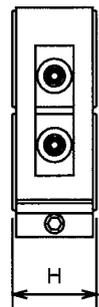
■形状



1ピース型



2ピース型



■取付け方法

バンドヒーターは出来る限り被加熱物に密着するように取り付け、数分間の通电後に増し締めされることをお勧めします。

※密着していない場合、被加熱物の温度が上がらずヒーターが断線する可能性がありますので十分注意してください

バンドヒーター

●目安標準寸法・容量[W]

内径D[mm] 巾H[mm]	30	40	50	60	70	80	100	120	140	160
40	(110)	(150)	190	220	260	300	—	—	—	—
50	(140)	190	230	280	330	370	450	—	—	—
60	(170)	220	280	330	390	450	550	650	—	—
70	200	260	320	390	450	520	650	750	900	—
80	220	300	370	450	520	600	750	900	1050	1200
100	280	370	470	550	650	750	900	1100	1300	1500
120	330	450	550	670	790	900	1100	1350	1550	1800
140	400	520	650	790	900	1050	1300	1550	1800	2100
160	450	600	750	900	1050	1200	1500	1800	2100	2400
180	500	650	850	1000	1150	1350	1650	2000	2300	2700
200	550	750	900	1100	1300	1500	1850	2250	2600	3000
250	—	—	—	—	—	1850	2300	2800	3200	3700
300	—	—	—	—	—	2250	2800	3300	3900	4500

■ワット密度

バンドヒーター容量はヒーターの大きさにより種々設計製作できますが、ワット密度とヒーター寿命には多くの関連要素があり使用条件にもよりますが、非加熱物に接している面積の1cm²当たりのW数が3W/cm²以下での設計をお勧めします。

例) 内径φ100 幅50mmのバンドヒーターのW数の算出

$$10 \text{ (内径 } c \text{ m)} \times 3.14 \text{ (円周率)} \times 5 \text{ (幅 } c \text{ m)} \times 3 \text{ (ワット密度)} \doteq 470\text{W}$$

※従いまして470W以下での設計をお勧めします。

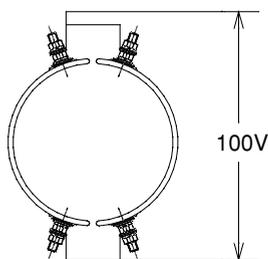
■結線方法

バンドヒーターは2ピースの100V用を用いますと、その接続方法により100Vでも200Vでも使用する事が可能です。

$$\left(\frac{\text{使用電圧}}{\text{定格電圧}} \right)^2 \times \text{定格容量} = \text{使用時の容量}$$

- ・ 定格電圧以上の電圧をかけないで下さい
- ・ 定格電圧以下でのご使用は問題ありません。
- ・ 定格電圧以下でのご使用時のヒーター容量は左記の式に従い算出願います。

100V並列結線



200V直列結線

